

小学校3、4年生《活動型》

- 1 単元 「L・M・Sのどれにしますか? ~Large, medium or small?~」
- 2 本時のねらい
  - 好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、ファーストフード店での注文の仕方に親しむ。
- 3 展開

児童の活動と指導のポイント (◆教師の活動 ※指導上の留意点)	
導入	<p>1 あいさつ</p> <p>2 ウォームアップ</p> <p>・あいさつゲーム</p> <p>3 復習</p> <p>・注文の仕方の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗カードを交換しながら、その国の言葉であいさつをする。 A: Where are you from? B: I'm from Germany. B: Guten Tag. A: Guten Tag</li> <li>・アイコンタクトを意識させる。 ・たくさんの友だちとあいさつさせる。</li> <li>・担任(客)とALT(店員)のデモンストレーションを見せる。 ・客と店員が言う表現を練習させる。 ・発音はゆっくり、はっきりと。</li> </ul>
展開	<p>4 アクティビティ</p> <p>・買い物ゲーム</p> <p>【買い物ゲームのルール】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①1人1000円分の買い物。</li> <li>②食べ物3つ、飲み物は2つまで買える。</li> <li>③進んで買い物をしたり、呼び込みをしたりする。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に手作りした商品グッズを用い、実際の場面を想定した場の設定をすることで、習った英語表現を使って買い物をしたいという意欲をもたせる。</li> <li>・値段は計算しやすいように、100円の倍数にしておく。(100円札)</li> </ul> <p>A: Hello. B: Hamburger, please. A: 200 yen. B: O. K. A: Here you are. B: Thank you.</p> <p>B: Orange juice, please. A: Large, medium or small? B: Small, please.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイコンタクト、ジェスチャーを意識させる。</li> <li>・教師は英語表現で困っている児童の支援をする。</li> <li>・進んで活動している児童を称賛する。</li> </ul>
終末	<p>5 振り返り</p> <p>☆今日の授業でわかったこと、気づいたことはありますか?</p> <p>全部、速読して読んでみたけど、外国の人、思ったよりも人なかりで話している。みんな思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードを書かせる。</li> <li>・今日の活動のよかったところを称賛し、次時への意欲を高めるようにする。</li> </ul> <p>6 あいさつ</p>

小学校5、6年生《活動型》

- 1 単元 Hi, friends! Lesson 7 "What's this?"
- 2 本時のねらい
  - ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしている。
- 3 展開

児童の活動と指導のポイント (◆教師の活動 ※指導上の留意点)	
導入	<p>1 あいさつ</p> <p>・日付・曜日・天候の確認</p> <p>・"Hello song"を歌う。</p> <p>2 前時の復習</p> <p>・発音の練習</p> <p>3 ウォームアップ</p> <p>・チャンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌うことで楽しい雰囲気を作り出す。</li> <li>・ALTの後に続いて、発音させる。 ・絵カードをめくるスピードを速くするなど、テンポ良く活動させる。</li> <li>*絵カードの工夫 例) mapの絵カードはALTの母国の地図を用意する。(異文化への気づき)</li> <li>本時のアクティビティで使うmat, cat, capの発音の違いを意識させ、楽しんで発音させる。</li> </ul>
展開	<p>4 本時のめあて</p> <p>クイズ大会をしよう</p> <p>5 アクティビティ</p> <p>・クイズ大会をする。 (①②③とも、JTEとALTのデモを初めに行う。)</p> <p>①ミッシングクイズ (STEP 1)</p> <p>児童に目を閉じさせ、その間に黒板に貼ってあるカードから1枚を裏返す(隠す)。目を開けさせ、What's this?と尋ねる。慣れてきたらカードの枚数を増やす。</p> <p>②シルエットクイズ (STEP 2)</p> <p>形だけが影のように見える絵カードを少しずつ見せたり、ちらちらさせたりしながら、What's this?と尋ねる。</p> <p>③クイズゲーム (STEP 3: 児童同士の活動)</p> <p>全員にクイズカード(シルエットカード、ものの一部が描かれているカード)を配る。ペアになり、会話ができたならカードをチェンジさせる。決まった時間で活動は終了し、友達と会話できた回数を競う。</p>
終末	<p>6 振り返り</p> <p>・いくつかのクイズに答える。</p> <p>・振り返りカードに記入する。</p> <p>7 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に発表できたことや、児童の活動でよかった点を具体的に評価する。</li> </ul>

小学校5、6年生《教科型》

- 1 単元 Hi, friends! 2 Lesson 5 "Let's go to Italy"
- 2 本時のねらい
  - おすすめする国を紹介する表現を使い、積極的にコミュニケーションしようとする。
- 3 展開

児童の活動と指導のポイント (◆教師の活動 ※指導上の留意点 ◎評価)	
導入	<p>1 あいさつ</p> <p>2 英語による曜日、日付、時間、天候の確認</p> <p>3 英語の歌</p> <p>4 フォニックスプラクティス</p> <p>5 Review</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童と挨拶をする。 ※児童どうして挨拶をさせる。</li> <li>◆曜日、日付、時間、天候の質問をする。</li> <li>※リズムよく、口の動きを示しながら教師やDVDの後に続いて発音させる。</li> <li>※英語表現を板書し、文構造にも着目させる。 ※ALTの発音をよく聞かせ、イントネーションに気を付けて発音できるようにする。</li> </ul>
展開	<p>6 Main Activity 1 (聞く・話す活動)</p> <p>◆活動のやり方を理解させるためにデモンストレーションを見せる。</p> <p>※児童が英語を使いたいと思えるようなコミュニケーションの場を設定し、ねらいとする表現の定着を図る。 ◎積極的にコミュニケーションしようとしている。</p> <p>7 Main Activity 2 (読む・書く活動)</p> <p>※フォニックスプラクティス(発音と綴り)とも関連させ指導する。 ◎4線の位置や字形に注意して正確にアルファベットを書くことができる。</p> <p>8 ストーリーテリング</p> <p>※児童になじみのある物語を聞かせることにより、ストーリーを理解しやすくする。 ※聞き取る・質問するポイントを事前に伝える。</p>
終末	<p>9 振り返り</p> <p>10 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※児童の学習態度や取組などでよかったところを具体的に称賛する。</li> </ul>

Q&A コーナー

Q1 このリーフレット作成のねらいは？

A1 2020年より、小学校5、6年生において教科化される予定です。現在行っている外国語活動との違いを理解し、実際の授業における留意事項等理解した上で積極的に取り組んでいけるようにです。

Q2 今、鴻巣市で取り組んでいる研究は何ですか？

A2 主に川里中学校区において、英語教育が早期に実施された場合の教育課程の在り方及び中学校・高等学校への円滑な移行と教育内容の高度化に関する研究開発に取り組んでいます。

Q3 小学校の英語はどのように変わっていくのですか？

A3 決して中学校の英語教育の前倒しではありません。子どもたちの発達段階に応じた指導を第一に行い、改めて小・中・高の一貫した教育課程の再編を行い、平成30年度から移行期間、平成32年度完全実施の予定です。

Q4 教科化されると、何が、どのように変わっていきますか？

A4 教科書を使用し、評価のためのテストを行うことも考えられます。学習したことの定着を図ることが重要となり、その効果的な方策として短時間学習の研究にも取り組んでいきます。

Q5 活動型と教科型とでは具体的にどんな違いがあるのですか？

A5 ①教科書を使います。  
②具体的な目標と計画のもと授業を行い、評価します。  
③「聞く」「話す」に「読む」「書く」が加わります。

Q6 評価はどのように行うのですか？

A6 観点別評価を基に数値化されることとなります。目標と指導計画を明確にすることが重要です。「何を教えるか」から英語を学ぶと「何ができるようになるのか、なったのか」という視点で考えていきましょう。

Q7 授業を行う上で、どんなことに注意したらいいのですか？

A7 早期に英語教育を開始したことで、「英語嫌い」な子どもにしてはいけません。興味・関心を十分に引き出せるよう、教材の工夫や発達段階に応じた活動に配慮しましょう。

Q8 小中の連携はどのようにとらえればよいですか？

A8 小学校で英語教育を本格的に開始すれば、中・高の一層の高度化が求められます。そのためには円滑な接続が不可欠です。小中連携から一貫という意識の変革と、相互の授業を見る機会を増やしましょう。

平成27年年度 授業力向上プロジェクト委員会	
委員長 校長 新井裕則 (赤見台中)	副委員長 校長 田部井康弘 (広田小)
委員 教諭 田口智子 (鴻巣北中)	大澤弘子 (赤見台中) 今井紀子 (田間宮小) 細田英里 (下忍小) 茂木勇人 (屈巢小)

HRT's Classroom English ~授業の基本的な流れを理解する~

学担任の指示等	
1 始めの挨拶	<p>○教卓の前に立ち、児童を集中させて。 T : O.K. Let's begin the class. Please stand up. (ジェスチャーをつけて) T : (午前)Good morning/(午後)Hello/Good afternoon, everyone. C : Good morning, 学級担任/ALT/JTE.</p>
2 児童同士の挨拶	<p>T : O.K. Let's greet each other. ○教師と児童とで次のように挨拶し、握手する。 T : How are you? C : I'm (fine / sleepy / hungry / ...). T : Next. Greet your friends. ○児童同士 (前からor横からor自由に) で次のように挨拶し、握手・着席する。 C1 : How are you? C2 : I'm (fine / sleepy / hungry / ...). How about you? C1 : I'm (hungry, too).</p>
3 4つの質問	<p>T : O.K. Let's talk about today with ALT. ALT:(3年)Please repeat after me. (4/5/6年)What day is it today? ALT:(3年)It's Wednesday. (4/5/6年)What is the date today? ALT:(3年)It's September 9<sup>th</sup>. (4/5/6年)How is the weather today? ALT:(3年)It's cloudy and rainy. (4/5/6年)What time is it now? T : Repeat after ALT.</p>
4 歌を歌う	<p>T : Next. Let's sing this month's song(s). Stand up, please. And look at the TV. T : Good. / Very good. / Wonderful. ほめる! ※ほめるときは理由を言ってほめる。たとえばGoodだけにはしない。</p>
5 復習	<p>T : (5・6年) What did you do in our last lesson? (3・4年) What did you do last time? Oh, you remembered! Great! Very good!</p>
6 主な活動	<p>T : O.K. Today we're going to ~, to write ヘボン式ローマ字 / to play a game / to make ~ for ~ / to interview our friends (あるいは、JTE or ALT に依頼してもO.K.) 《授業中のその他の英語表現》 * 「席に戻りなさい。」 Go back to your seat. * 「(4人) グループを作りなさい。」 Make groups (of 4). * 「元の隊形に机を戻しなさい。」 Move your desks back. * 「ペアを作りなさい。」 Make pairs. * 「よく聞いて。」 Listen carefully. * 「姿勢が悪いから、姿勢をよく座って。」 Sit up straight. * 「ほおづえを止めて座って。」 Put your hand down. Sit up straight. * 「足を組むのを止めなさい。」 Uncross your legs. ※多くの子どもたちにとって青文字は聞き慣れない英語です。その理解を助けるものがジェスチャーです。 英語で説明することが難しい時は日本語でO.K.! 動じがらずにジェスチャーをつける!</p>
7 ストーリーを聞く	<p>T : Let's enjoy storytelling. The title is (題名). Please watch and listen carefully. (ストーリーを見た後で) I have some questions. 内容等についての質問は、英語だけでなく、日本語でもよい。</p>
8 評価	<p>8 児童を集中させてから評価。通り一遍の評価ではなく、個々の児童の成長や学級の成長等、学級担任ならではの評価をする。</p>
9 終わりの挨拶	<p>T : That's all for today. Please stand up. Let's say good-bye to ALT(name) and JTE(name). ※学級担任はまだ子どもたちと会うので、Good-bye. See you. は言わない。 ALT&amp;JTE : See you (next Tuesday).</p>

授業力向上プロジェクト委員会 授業力向上リーフレット vol.3

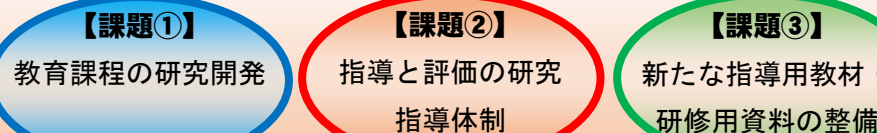
授業力アップをめざして!

平成28年4月 鴻巣市教育委員会

1 研究開発課題 ~英語教育強化地域拠点事業~

小学校で英語教育が早期化・教科化された場合の

英語教育の在り方の検証



2 研究主題

「いきいきと主体的に活動する川里の子どもたち」  
~グローバル化に対応した新たな英語教育の推進~

3 研究の取組 (平成27年度)

